

静岡県 の 地震 活 動

第 36 卷 第 7 号

2025 年 8 月 8 日

静岡地方気象台

2025 年 7 月の地震活動概況

静岡県で震度 1 以上を観測した地震は 6 回あり、このうち神奈川県西部の地震などにより震度 2 を観測しました。

静岡県内の最大震度別地震回数（2025 年 7 月 1 日～31 日）

震度	1	2	3	4	5 弱	5 強	6 弱	6 強	7	合計
地震回数	3	3	0	0	0	0	0	0	0	6

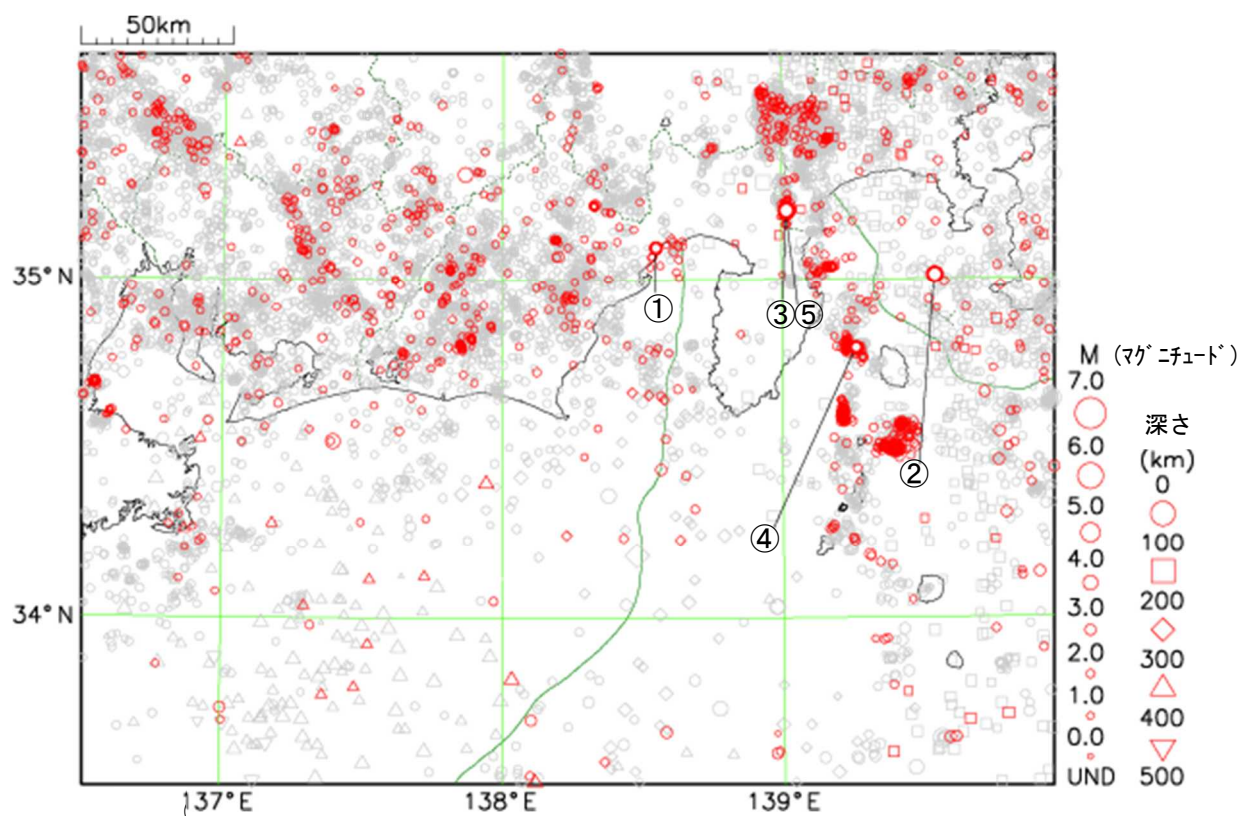


図 1 静岡県とその周辺の震央分布図（2024 年 8 月 1 日～2025 年 7 月 31 日、深さ 0～500 km、M すべて）2025 年 7 月の地震を赤色で表示

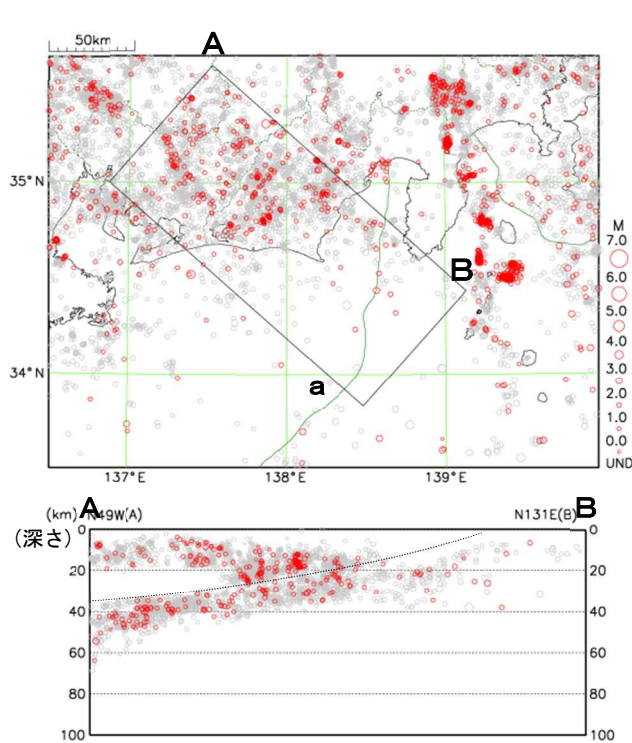


図2 震央分布図（2024年8月1日～2025年7月31日、深さ0～100km、Mすべて）及び断面図（領域a内A－B断面）
2025年7月の地震を赤色で表示
点線は陸側プレートとフィリピン海プレートとの境界のおよその位置

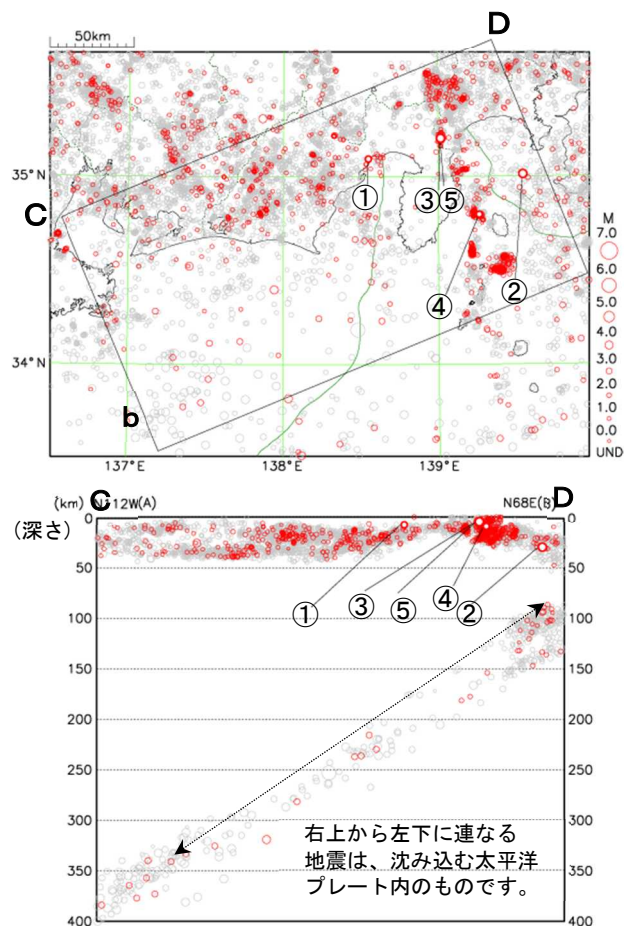


図3 震央分布図（2024年8月1日～2025年7月31日、深さ0～400km、Mすべて）及び断面図（領域b内C－D断面）
2025年7月の地震を赤色で表示

1. 静岡県及びその周辺

①静岡県中部の地震（図1、図3の①、表1のa）

10日11時21分に静岡県中部で発生した地震（M2.5、深さ8km）により、静岡市清水区、富士宮市で震度1を観測しました。（図4）。

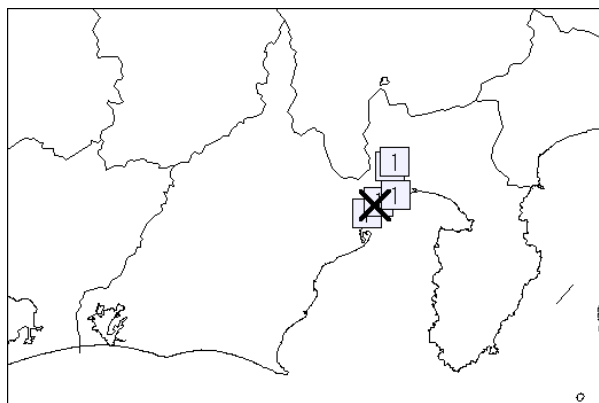


図4 県内及びその周辺の震度分布図
（×は震央を示す）

②伊豆大島近海の地震（図 1、図 3 の②、表 1 の b）

14 日 14 時 55 分に伊豆大島近海で発生した地震（M3.3、深さ 30km）により、千葉県及び神奈川県で震度 2 を観測したほか、千葉県、神奈川県及び静岡県で震度 1 を観測しました（図 5）。県内では、熱海市で震度 1 を観測しました（図 6）。

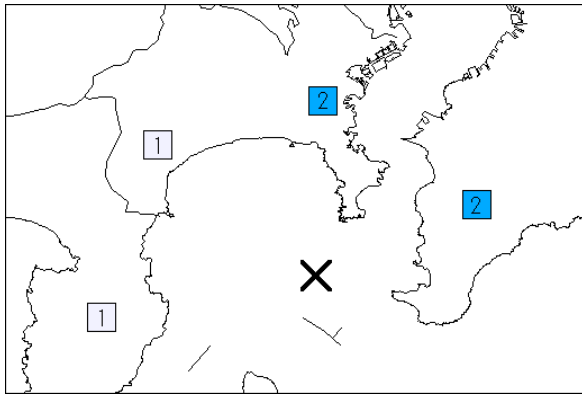


図 5 各地域の震度分布図
（×は震央を示す）

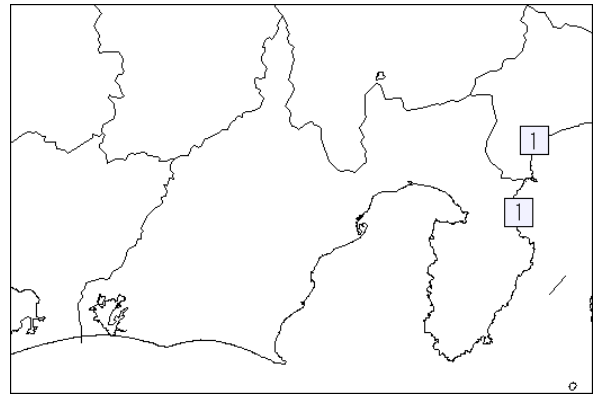


図 6 県内及びその周辺の震度分布図

③神奈川県西部の地震（図 1、図 3 の③、表 1 の d）

21 日 04 時 28 分に神奈川県西部で発生した地震（M3.1、深さ 5 km）により、静岡県で震度 2 を観測したほか、神奈川県及び静岡県で震度 1 を観測しました。県内では、熱海市で震度 2 を観測したほか、三島市、函南町、長泉町、伊豆の国市で震度 1 を観測しました（図 7）。



図 7 県内及びその周辺の震度分布図
（×は震央を示す）

④伊豆大島近海の地震（図 1、図 3 の④、表 1 の e）

21 日 08 時 17 分に伊豆大島近海で発生した地震（M2.7、深さ 9km）により、東伊豆町で震度 2 を観測しました（図 8）。

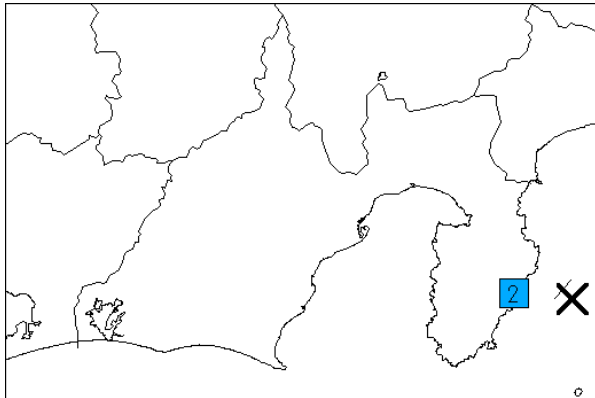


図 8 県内及びその周辺の震度分布図
（×は震央を示す）

⑤神奈川県西部の地震（図 1、図 3 の⑤、表 1 の f）

23 日 21 時 49 分に神奈川県西部で発生した地震（M3.8、深さ 5km）により、神奈川県及び静岡県で震度 2 を観測したほか、神奈川県、山梨県及び静岡県で震度 1 を観測しました。県内では、東部、伊豆及び静岡市清水区で震度 2 から 1 を観測しました（図 9）。この地震は、発震機構が北北西-南南東方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型で陸のプレートで発生しました（図 10）。

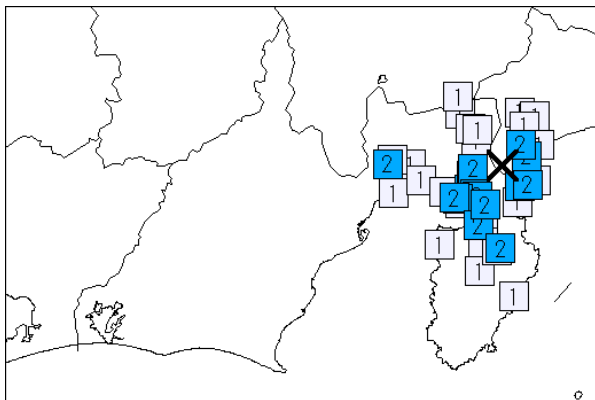


図 9 各地域の震度分布図
（×は震央を示す）

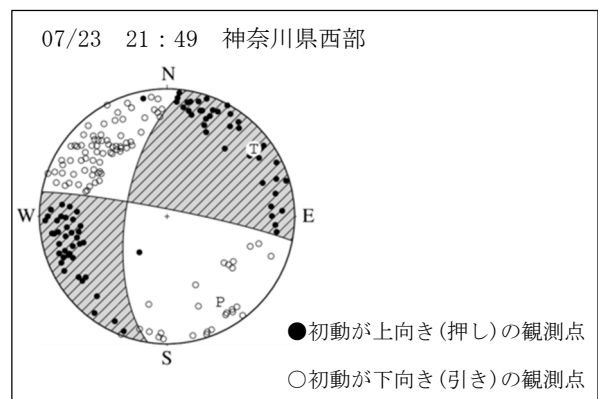


図 10 初動発震機構解

2. その他の地域（図1の範囲外）

⑥茨城県北部の地震（表1のc）

15日23時47分に茨城県北部で発生した地震（M4.9、深さ56km）により、茨城県及び栃木県で震度4を観測したほか、関東甲信越地方、宮城県、福島県、静岡県で震度3から1を観測しました（図13）。県内では、富士市で震度1を観測しました（図14）。

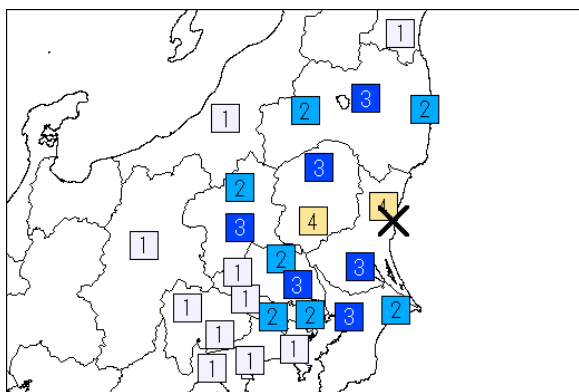


図13 各地域の震度分布図
（×は震央を示す）

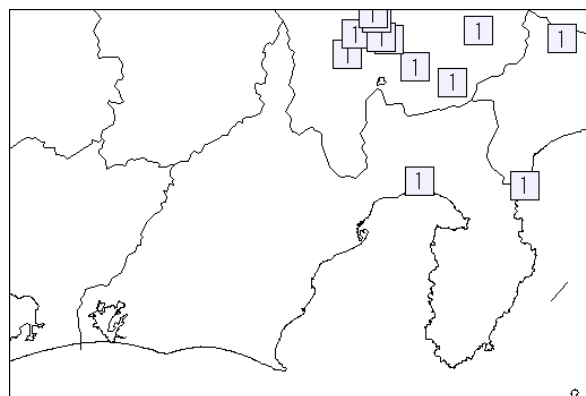


図14 県内及びその周辺の震度分布図

3. 静岡県の津波（速報値）

30日08時24分（日本時間）に、ロシア、カムチャツカ半島東方沖で発生したM8.7（速報値）の地震により、岩手県久慈港で1.4mの津波を観測したほか、広く太平洋側沿岸で津波を観測しました。この津波により静岡県内で観測した津波の高さと観測時刻は以下の通りです。

沼津市内浦（気象庁）：30日21時48分 0.4m
南伊豆町手石港（気象庁）：30日21時40分 0.4m
下田港（港湾局）：31日00時06分 0.6m
伊東（国土地理院）：30日11時46分 0.2m
焼津（国土地理院）：30日17時32分 0.3m
御前崎（気象庁）：30日21時50分 0.4m

4. 富士山の地震活動

富士山では、深部低周波地震を5回観測しました。また、高周波地震は観測されませんでした（6月の深部低周波地震は12回、高周波地震は5回）。

「深部低周波地震」「高周波地震」は、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」の「火山性地震・火山性微動に関する用語」：<https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/shindou.html> をご覧ください。

この資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。

また、2016 年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022 年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、EarthScope Consortium の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。

※本資料は、静岡地方気象台ホームページの「静岡県の地震概況」に掲載してあります。

https://www.data.jma.go.jp/shizuoka/shosai/gaikyo_eq/gaikyo_eq.html

問い合わせ先：静岡地方気象台 地震・火山担当 電話 054-286-3521

表 1 [県内震度観測点で震度 1 以上となった地震とその震度]

(記号は以下の各地の震度表中の記号に対応、* 印は自治体、国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点、－は運用休止中を示す)

記号	地震発生時刻	震央地名	北緯	東経	深さ	M	最大震度(県外を含む)
a	7月10日11時21分	静岡県中部	35° 05. 7′	138° 32. 9′	8 km	2. 5	1 : * 静岡清水区由比北田ほか
b	7月14日14時55分	伊豆大島近海	35° 00. 7′	139° 32. 9′	30km	3. 3	2 : * 神奈川三浦市城山町ほか
c	7月15日23時47分	茨城県北部	36° 27. 6′	140° 36. 7′	56km	4. 9	4 : * 茨城県笠間市石井ほか
d	7月21日04時28分	神奈川県西部	35° 12. 2′	139° 01. 1′	5 km	3. 1	2 : * 熱海市泉
e	7月21日08時17分	伊豆大島近海	34° 47. 8′	139° 15. 8′	9 km	2. 7	2 : * 東伊豆町奈良本
f	7月23日21時49分	神奈川県西部	35° 12. 2′	139° 01. 0′	5 km	3. 8	2 : * 神奈川箱根町湯本ほか

地域	震度観測点	各地の震度					
		a	b	c	d	e	f
静岡県	下田市加増野						
	* 下田市中						
	* 下田市敷根						
	* 東伊豆町稲取						
	* 東伊豆町奈良本					2	1
	* 河津町田中						
	南伊豆町石廊崎						
	* 南伊豆町入間						
	* 南伊豆町下賀茂						
	* 松崎町江奈						
	* 松崎町宮内						
	* 西伊豆町仁科						
	* 西伊豆町宇久須						
	* 西伊豆町一色						
	熱海市網代		1				
	* 熱海市泉				2		2
	* 熱海市中央町						1
	伊東市大原						
	* 伊東市八幡野						
	* 函南町平井				1		2
静岡県	* 伊豆の国市長岡				1		2
	* 伊豆の国市田京						1
	* 伊豆市小立野						1
	* 伊豆市土肥						
	* 伊豆市湯ヶ島						1
	* 伊豆市八幡						1
	伊豆市中伊豆グラウンド						2
	* 沼津市高島本町						2
	* 沼津市御幸町						1
	* 沼津市西間門						2
	* 沼津市戸田						1
	* 沼津市原						1
	三島市東本町				1		2
	* 三島市大社町						2
	御殿場市萩原						1
	* 御殿場市茱萸沢						1
	* 御殿場市竈						1
	* 裾野市石脇						2
	* 裾野市佐野						2
静岡県	* 静岡清水町堂庭						1
	* 長泉町中土狩				1		2
	* 小山町藤曲						
	* 小山町須走						1
	富士宮市弓沢町	1					1
	* 富士宮市猪之頭						
	* 富士宮市野中	1					2
	* 富士宮市長貫						
	* 富士市本市場						
	* 富士市永田町						
	* 富士市岩淵						
	* 富士市吉永			1			1
	* 富士市大淵						1
	富士市富士総合運動公園	－	－	－	－	－	－
静岡県中部	静岡駿河区曲金						
	* 静岡駿河区用宗						
	静岡葵区追手町県庁						

地域	震度観測点	各地の震度					
		a	b	c	d	e	f
静岡県	* 静岡葵区追手町市役所						
	* 静岡葵区駒形通						
	* 静岡葵区梅ヶ島						
	静岡清水区千歳町						
	* 静岡清水区蒲原新栄	1					1
	* 静岡清水区由比北田	1					
	* 静岡清水区谷津	1					
	* 島田市金谷代官町						
	島田市川根町家山						
	島田市元島田						
	* 島田市川根町笹間上						
	* 焼津市石津						
	* 焼津市宗高						
	* 藤枝市瀬戸新屋						
	* 藤枝市岡出山						
	* 藤枝市岡部町岡部						
	牧之原市鬼女新田						
	* 牧之原市静波						
	* 吉田町住吉						
	* 川根本町上長尾						
	* 川根本町東藤川						
静岡県	* 磐田市見付						
	* 磐田市国府台						
	* 磐田市福田						
	* 磐田市岡						
	* 磐田市下野部						
	袋井市新屋						
	* 袋井市浅名						
	* 掛川市長谷						
	* 掛川市西大淵						
	* 掛川市三俣						
	掛川市篠場						
	御前崎市御前崎						
	* 御前崎市池新田						
	* 静岡菊川市赤土						
	* 静岡菊川市堀之内						
	* 静岡森町森						
	* 浜松天竜区春野町						
	* 浜松天竜区二俣町鹿島						
	* 浜松天竜区龍山町						
	* 浜松天竜区佐久間町						
静岡県西部	* 浜松天竜区水窪町						
	浜松中央区高丘東						
	* 浜松中央区元城町						
	* 浜松中央区三組町						
	* 浜松浜名区西美蘭						
	* 浜松中央区流通元町						
	* 浜松中央区舞阪町						
	* 浜松中央区雄踏						
	* 浜松中央区江之島町						
	浜松浜名区滝沢町						
	* 浜松浜名区細江町						
	浜松浜名区三ヶ日町						
	* 湖西市新居町浜名						
	* 湖西市吉美						

津波から身を守るために

夏本番、本格的な海水浴など海のレジャーシーズンです。海辺にいるときに、改めて意識していただきたいのが「津波から身を守るための行動」です。

津波警報・注意報を見聞きしたり、海辺で強い揺れを感じたり、長くゆっくりした揺れを感じたりしたら、海辺から離れ、より高い安全な場所へ避難しましょう。

▶ 解除まで気を付けて

津波は繰り返し襲ってきます。津波到達後も津波警報・注意報が解除されるまで気を緩めず、避難を続けてください。津波警報が出ている間は、絶対に戻ってはいけません。

▶ 注意報でも海中は危険

津波注意報が出ているところでは、海水浴や磯釣りは危険です。ただちに海から上って、海岸から離れてください。

▶ 正しい情報を入手

テレビやラジオ、広報車、防災行政無線などを通じて正確な情報を入手しましょう。



いつ津波が発生しても身を守ることができるように、日頃から色々な場面を考えて備えておきましょう。

▶ 危険な場所を確認

自宅や学校、職場周辺などで津波に襲われるおそれのある場所をハザードマップや周囲の地形から確認しておきましょう。海から離れていても、川に沿って津波が襲ってくることもあります。

▶ 避難場所を確認

津波避難場所や避難ビルがどこにあるか、また避難経路などを周りの人と確認しておきましょう。避難場所は1ヶ所だけでなく、さらに高い場所にあるところも調べておきましょう。

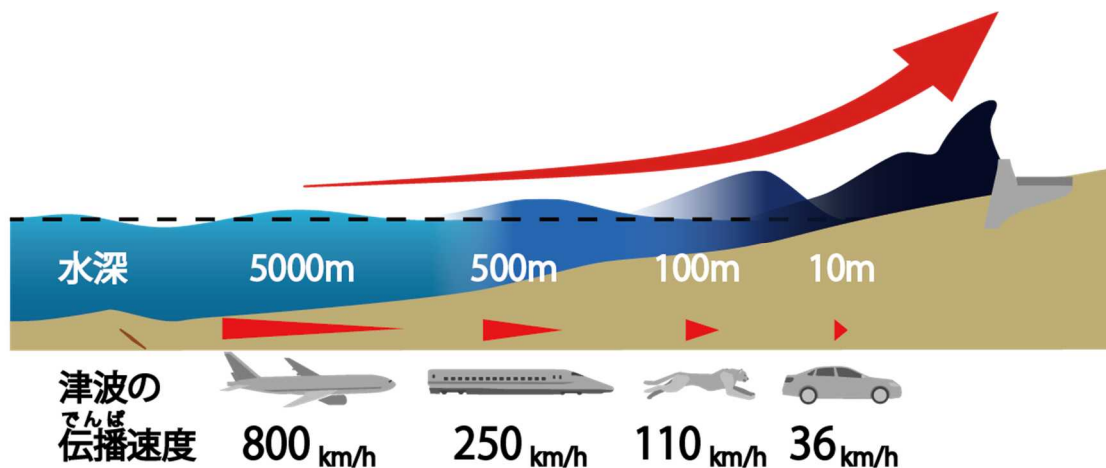
▶ 訓練に参加しよう

実際に避難経路をたどってみるなど、積極的に訓練に参加しましょう。

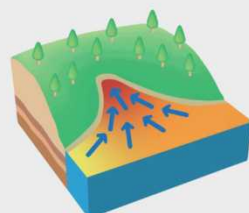


津波は、地震などによって生じた海底の隆起・沈降に伴い発生した海水の波が、四方八方へ広がり伝わっていく現象です。

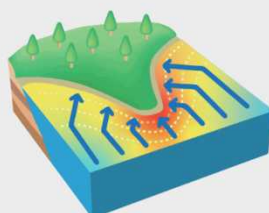
- ▶ 沿岸に近づき水深が浅くなるにつれ、**急激に高くなります**。
- ▶ 津波の伝播速度は非常に速く、**見ながら逃げるのでは間に合いません**。
- ▶ 周辺の地形により反射や屈折を経て繰り返し襲ってきます。**後から来る津波の方が高くなる**こともあります。
- ▶ 津波の力は非常に強く、**高さが 50cm 程度の津波**であっても立っていられず、流されてしまいます。
- ▶ 津波は「**引き**」から始まるとは限りません。“潮が引いたら逃げればよい” というのは大きな間違いです。
- ▶ 沿岸の地形の影響などにより、**局所的に高くなる**こともあります。
- ▶ 潮位変化が始まってから最大波が観測されるまで**数時間以上**かかることもあります。



地形による津波の増幅の例



V字型の湾では湾の奥にエネルギーが集中し、波高が高くなります。



岬の先端では、津波が海岸線に対して平行になろうとしてエネルギーが集中し、波高が高くなります。

詳細は気象庁ホームページや政府広報オンラインをご覧ください。

- ▶ 気象庁ホームページ「津波から身を守るために」

https://www.data.jma.go.jp/svd/eqev/data/tsunami_bosai/index.html

- ▶ 政府広報オンライン「津波から身を守るための行動」

<https://www.gov-online.go.jp/useful/article/201410/4.html#fourthSection>

- ▶ 政府広報オンライン「日頃の備えで大事なことは？」

<https://www.gov-online.go.jp/useful/article/201410/4.html#fifthSection>

火山災害から身を守る

8月26日は「**火山防災の日**」です。火山への理解を深め、噴火に備えましょう。

火山は時として大きな災害を引き起こします。特に、火山噴火に伴い発生する大きな噴石、火砕流、融雪型火山泥流は、避難までの時間的猶予がほとんどなく、生命に対する危険性が高いため、防災対策上重要度の高い火山現象として位置付けられており、噴火警報や避難計画を活用した事前の避難が必要です。



浅間山の噴石（平成17年8月4日）



雲仙岳の火砕流（平成6年6月24日）

噴火警戒レベルが運用されている火山では、平常時のうちに火山防災協議会で合意された避難開始時期・避難対象地域の設定に基づき、気象庁は「警戒が必要な範囲」を明示し、噴火警戒レベルを付して、地元の避難計画と一体的に噴火警報・予報を発表します。

種別	名 称	対象範囲	噴火警戒レベルとキーワード		説明			
					火山活動の状況	住民等の行動	登山者・入山者への対応	
特別 警報	噴火警報 (居住地域) 又は 噴火警報	居住地域 及び それより 火口側	レベル 5	避難		居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生、あるいは切迫している状態にある。	危険な居住地域からの避難等が必要（状況に応じて対象地域や方法を判断）。	
			レベル 4	高齢者等 避難		居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生すると予想される（可能性が高まってきている）。	警戒が必要な居住地域での高齢者等の要配慮者の避難、住民の避難の準備等が必要（状況に応じて対象地域を判断）。	
警報	噴火警報 (火口周辺) 又は 火口周辺警報	火口から 居住地域 近くまで	レベル 3	入山規制		居住地域の近くまで重大な影響を及ぼす（この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ）噴火が発生、あるいは発生すると予想される。	通常の生活（今後の火山活動の推移に注意。入山規制）。状況に応じて高齢者等の要配慮者の避難の準備等。	登山禁止・入山規制等、危険な地域への立入規制等（状況に応じて規制範囲を判断）。
		火口周辺	レベル 2	火口周辺 規制		火口周辺に影響を及ぼす（この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ）噴火が発生、あるいは発生すると予想される。	通常の生活。（状況に応じて火山活動に関する情報収集、避難手順の確認、防災訓練への参加等）。	火口周辺への立入規制等（状況に応じて火口周辺の規制範囲を判断）。
予報	噴火予報	火口内等	レベル 1	活火山で あることに 留意		火山活動は静穏。火山活動の状態によって、火口内で火山灰の噴出等が見られる（この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ）。		特になし（状況に応じて火口内への立入規制等）。